

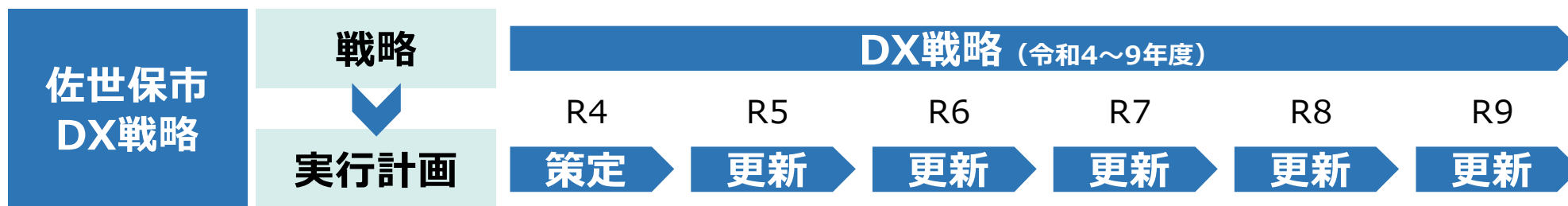
**佐世保市 DX戦略
実行計画**

令和6（2024）年度版
佐世保市

実行計画の概要

(1) 実行計画の位置付け

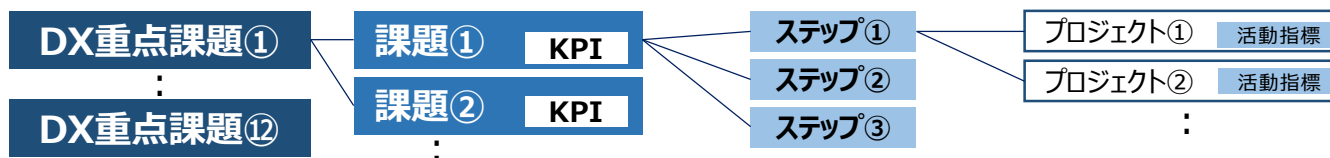
本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



※本計画に記載されているプロジェクトは策定時点での見込であり、今後変更になる可能性があります。

(2) DX戦略の進捗管理

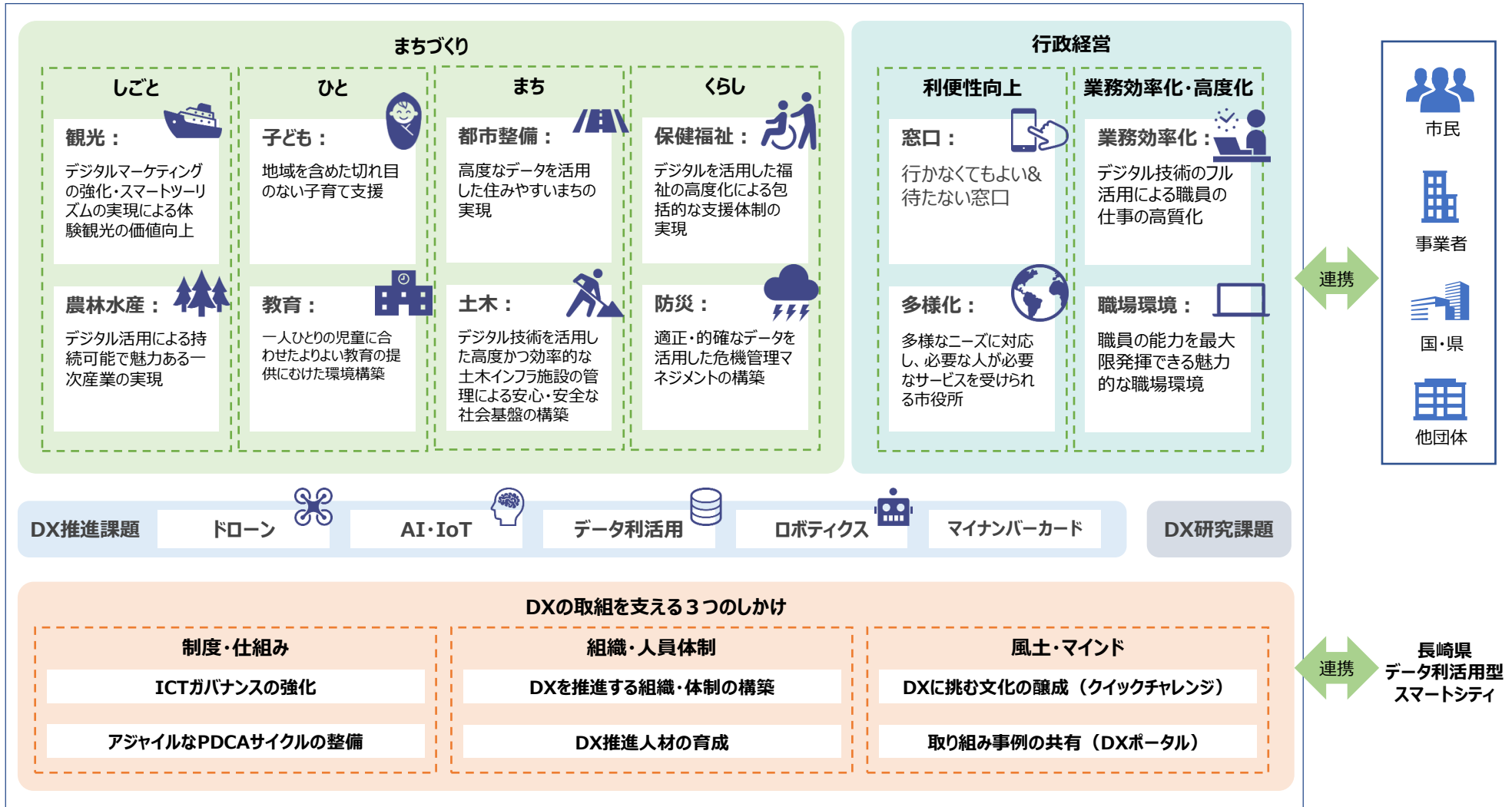
- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



DX戦略の全体像

国・県の方針や最新の技術動向、本市の政策課題や地域課題、行政課題等の現状を踏まえ、市の成長や市民サービスの向上の実現に向けて、戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題を設定しました。

つながる ひろがる 未来のSASEBO



| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|---------------------------|------------------------------|------------------------------------|----|----|----|----|--|
| データ活用による戦略策定と観光力強化 | 1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析 | | | | | | <p>■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができています。</p> <p>■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。</p> |
| | 【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援 | | | | | | |
| | 【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス | | | | | | |
| | 【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析 | | | | | | |
| | 【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画 | | | | | | |
| | 1-2 データに基づいた戦略の策定 | | | | | | |
| | 【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム | | | | | | |
| | 【観光1-2-2】データ分析による需要予測 | | | | | | |
| | | 【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測 | | | | | |
| 1-3 事業者と連携した地域の観光力強化 | | | | | | | |
| | | 【観光1-3-1】事業者等との情報共有 | | | | | |
| デジタルプロモーションの推進 | 2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化 | | | | | | <p>■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加している。</p> <p>■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。</p> |
| | 【観光2-1-2】デジタルパンフレット | | | | | | |
| | 【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み | | | | | | |
| | 【観光2-1-4】デジタルマップの活用 | | | | | | |
| | 【観光2-1-5】各種商品券の電子化 | | | | | | |
| 2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進 | | | | | | | |
| | | 【観光2-2-1】デジタルトラベルガイドの導入 | | | | | |
| 最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築 | 3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲) | | | | | | <p>■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。</p> |
| | 3-a-2 メタ観光ニーズへの対応 | | | | | | |
| | 【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供 | | | | | | |
| | 3-b-2 最適な移動手段情報の提供 | | | | | | |
| | | 【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供 | | | | | |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|---------------------------|---|----------------|
| | | <p>モニタリングデータの実証検証を経て、得られた分析結果から観光客の動向や消費行動等の細かな傾向や特異点を見出すことで、観光施策の課題をより明確にし、事業効果の仮説整理をより精緻化していく。</p> <p>また、観光情報発信の在り方についても、デジタル技術の発展(AI精度の向上等)に注視しながら、情報の受け手である観光客への適正かつ即時性を追求した手法の取入れを行っていきたい。</p> | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | <p>県と連携し宿泊予約情報やキャッシュレス決済のデータ収集を検証することとし、観光客の行動結果の分析にとどまらず、行動等の予測も行うことで市内事業者等の経営計画や仕入れの効率性に役立つ情報へと、データ分析の精度を昇華させていく。</p> <p>また、個人旅行客の増加に伴って多様化する旅行の志向性等に対応できるよう、観光施策の実効性をより高めることが重要となってくることから、分析結果から課題を抽出するスキルの向上にも併せて取り組んでいく。</p> | |
| 2 | デジタルプロモーションの推進 | <p>技術的検証を行いながら、最適なxRの導入について引き続き検証を行う。観光スポットにおけるデジタルガイド機能の提供を強化し、観光客に観光資源への理解や興味を深めていただけるよう、紙媒体に比べて内容的にもさらにわかりやすい情報の発信を実現させていくことで、観光資源の魅力の最大化を図る。</p> <p>また、掲載する情報についてもこのような情報発信媒体の利用実態などのデータ分析結果を踏まえながら、発信内容の磨き上げ(見直しや追加等)を継続して行っていく。</p> | |
| 3 | 最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築 | <p>MaaSアプリ STLOCALへ、多様化する観光客の志向性に対応するための多彩なモデルコースやおすすめの観光モデルの掲載を推進していく。</p> <p>また、いままでに紹介の頻度が少なかった地元おすすめの食事や遊び方など、観光客が具体的に楽しみ方をイメージできるような提案型観光情報発信を目指していく。</p> | |

【R6】重点課題 KPI の評価

01<<まちづくり>>

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

| No. | 項目 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 | | |
|-----|---------------------------|-------------------|----|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--|---|--|---|
| | | 予定 | 実績 | | | | | | | | | | | |
| 1 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | データを活用した事業立案数 | 予定 | | | 5 | 6 | 7 | 8 | 8 | 事業提案の際には事前に市場調査等を行いデータに基づく展開を行うこととしている。新規事業の提案数として5件程度とした。R6以降は1件ずつ増加させ、年8件を目指す。 | - | | |
| | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
| | | 民間事業者へのオープンデータ提示数 | 予定 | | | 3 | 5 | 7 | 7 | 7 | | | 宿泊施設をはじめとする観光関連事業者に対し、市が提供する観光関連データ分析結果のダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関する旅行者動向に関するダッシュボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを想定 | - |
| | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
| 2 | デジタルプロモーションの推進 | デジタル化されたプロモーション件数 | 予定 | 10 | 15 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | SNSを利用したプロモーションは現在も10本程度実施しており、今後はターゲットを細かく設定して件数を伸ばす。 | SNSでのプロモーション設定を可能な限り行った。 | | |
| | | | 実績 | 10 | 16 | | | | | | | | | |
| 3 | 最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築 | 観光ルートのアクセス数/利用者数 | 予定 | 25,000 | 27,500 | 30,000 | 33,000 | 36,000 | 39,600 | 43,500 | 令和3年度のモデルコースのサイト閲覧数の見込みが25,000PVのため毎年10%増を見込む | モデルコースの閲覧数が大幅に伸びており、旅マエで旅先の過ごし方のシミュレーションを行う観光客が以前にもまして増えていると見込まれる | | |
| | | | 実績 | 55,584 | 151,246 | | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|----------------------|----|--|--|----|----|----|--|
| 担い手の確保・継続・育成 | | | 1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-1-2】新規参入マッチングサービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化 | | | | ■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組めている。 ■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係を構築できている。 |
| 生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現 | | 2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援) 【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産 【農水2-a-1/2-3】農業散布用ドローン等 【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測 【農水2-a-3-1】生産者への情報共有のデジタル化 | | | | | ■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。 ■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。 |
| 安心・安定して生産できる環境の整備 | | 3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業 | | | | | ■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。 |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|----------------------|--|----------------|
| | | <p>【農業】農地の貸し借りをWEB上でマッチングする仕組みについても引き続き状況を注視し、環境制御機器等によるスマート化を中心に支援を行う。</p> <p>【漁業】水産センターでの調光システム及び水質センサー3台により効果検証を行う。</p> <p>【監視装置】テレメータによる赤潮の早期検知システムを増設して運用を行い、より安心安定して生産できる環境の整備を図る。</p> <p>【鳥獣】令和5年度に実証実験(小規模)及び改良を加えたデバイスを用い、市内(広域)での捕獲実証実験を行う。</p> | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 担い手の確保・継続・育成 | <p>オンライン相談については電話等の初期対応後に、関係機関を含めた次期相談設定に際してはオンライン活用の必要性をケース毎に検討していく。</p> <p>また、令和5年度より実施の農業参入企業等支援事業では、全国の農業参入検討企業と双方向の意見交換をWEB上でも可能とできるよう、併せて検討していく。</p> <p>農地の貸し借りについては現地の状況を確認する必要があるなど、簡単にはマッチングできないが、その条件を満たすシステムがないかどうか引き続き注視する。</p> | |
| 2 | 生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現 | <p>【農業】「農業のスマート化推進」の3年目として、環境制御機器等によるスマート化などを中心に引き続き導入に向けて検討し支援する。</p> <p>また令和6年度から新たに畜産分野においてもスマート機器の導入を進める他、生産者への情報共有のデジタル化、オンラインによる直売にも併せて取り組んでいく。</p> <p>【漁業】水産センターでのIoTによる給餌管理実現のため、令和5年度に3基の水質センサーを導入し、実証検証を令和6年度に行う。令和7～9年度の3ヶ年で残り8基の水質センサーを導入する。</p> <p>「需要データ」の情報発信については、生産物の需要予測を行政が担うことに向かないため、営農記録及び情報共有に関してデジタル化を図ることで生産性の向上を目的に「生産者への情報共有のデジタル化」へ見直した。</p> | |
| 3 | 安心・安定して生産できる環境の整備 | <p>【鳥獣】令和5年度に実証実験(小規模)及び改良を加えたデバイスを用い、市内(広域)での捕獲実証実験を行う。</p> <p>【赤潮監視装置】令和4年度に設置後、赤潮による漁業被害の発生はなく、漁業者にも非常に好評で増設要望がなされている。令和6年度は、広域連携事業として赤潮監視装置を増設し、さらに広域でのモニタリングを行い、より安心安全な生産環境を整備する。</p> | |

【R6】重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

02【農林水産】デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

| 1 | 担い手の確保・継続・育成 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 | |
|----|----------------------|------------------------|----|-----------------------|----|----|----|----|----|-----|---|----------------|---|
| | | 新規就農などオンライン・デジタルによる相談数 | 予定 | プロジェクトの検討と合わせて整理し設定する | | | | | | | | | プロジェクトの検討と合わせて整理 |
| 実績 | / | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現 | IoT等を活用した農家数 | 予定 | 5 | 18 | 28 | 44 | 62 | 82 | 102 | これまでの実績及び佐世保市農畜産物全般を対象としたスマート化・高品質化支援事業の計画 | 計画通りの進捗が図れている。 | |
| | | | 実績 | 5 | 18 | | | | | | | | |
| | | IoTを活用した漁業者数 | 予定 | / | / | 30 | 40 | 40 | 40 | 40 | 漁協聞き取り | | 漁業者の高齢化もあり、受入れに難色を示し普及が十分に進んでいない。また、アプリの潮流予測についても漁業者から指摘もあることから、アプリの改良の進捗状況の確認および広報を続けていく予定としている。 |
| | | | 実績 | / | / | | | | | | | | |
| 3 | 安心・安定して生産できる環境の整備 | IoTを活用した鳥獣検知箇所数 | 予定 | / | / | / | / | - | - | - | R4～6にかけて実証実験を行い、令和7年度に全市的に展開を行う計画としているので、R6に目標値を設定する予定。 | | |
| | | | 実績 | / | / | / | / | | | | | | |
| | | IoTを活用した赤潮検知箇所数 | 予定 | / | 1 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 設置予定台数から算出 | | 計画通りの進捗が図れている。 |
| | | | 実績 | / | 1 | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|--|-----------------------------------|---------------------------------|---|----|----|----|--|
| <p>簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現</p> | 1-a-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上 | | <p>【子ども1-a-1-1】オンライン対応可能な手続申請</p> | | | | <p>■子育てに関する手続きのオンライン化やワンストップ化により、子育て世帯の手続きの利便性の向上が実現できている。 ■子育て世帯それぞれに合わせ、子育てに関する様々な情報をプッシュ型通知などで積極的に発信することで、子育てしやすい環境が実現できている。</p> |
| | 1-b-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上 | | | | | | |
| | 1-2 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化 | | <p>【子ども1-2-1】オンライン申請利用率の向上</p> | | | | |
| | | | | | | | |
| <p>地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化</p> | 2-1 新たな技術を活用した子育て支援の推進 | | <p>【子ども2-1-2】オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)</p> | | | | <p>■先進技術やデータの活用により、地域一体での子育て支援の更なる拡充と職員の業務効率化の双方を実現できている。 ■データに基づいた施策立案により、複雑化する市民ニーズへの対応を強化し、子育てしやすい環境が実現できている。</p> |
| | 2-2 子育て支援に必要なデータの取得・分析 | | | | | | |
| | | | <p>【子ども2-1-3】地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携</p> | | | | |
| | 2-3 データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応 | | | | | | |
| | | | <p>【子ども2-2-1】子育て関連情報の一元管理</p> | | | | |
| | | <p>【子ども2-3-1】AIデータ分析による業務活用</p> | | | | | |

| R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|--|----------------|
| <p>○放課後児童クラブ等との効果的かつ効率的な連携について、73クラブ全てにおけるオンライン申請が実施できるよう環境整備を図ることで、市と児童クラブ双方の業務の効率化を推進する。</p> <p>○子育て世帯等にとって「簡単で便利な手続き」を継続して提供できるように、引き続き研究を行いながら、可能な限り実現を図る。</p> | |

| R6年度の事業総括 | | |
|-----------|---|-------------|
| 目標 | | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | <p>簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現</p> | |
| 2 | <p>地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化</p> | |

オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。
 ○未対応の手続きについては、オンライン申請の要否を含めて改めて検討を行う必要がある。
 ○今後は、オンライン申請率の向上に向けて対策を検討する必要がある。

①オンライン申請の更なる活用で、効率化を目指す。
 ②子育て支援の実現に向けた必要なデータの整理や取得方法・関連する規制等については、専門的な知識・ノウハウも必要であり検討していきたい。

【R6】重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない子育て支援

| 1 | 簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|-------------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|--------------------------------------|--|
| | | オンライン対応手続き数 | 予定 | 16 | 77 | 93 | 93 | 97 | 99 | 99 | | |
| | 実績 | 19 | 84 | | | | | | | | | |
| | オンライン申請利用率 | 予定 | 10.0% | 20.0% | 30.0% | 35.0% | 40.0% | 45.0% | 50.0% | | オンラインでの手続き件数/手続き総件数 | 対応可能なものから順次実施している。オンライン申請率の向上に向けて対策を検討する必要がある。 |
| | | 実績 | 12.1% | 14.0% | | | | | | | | |
| | プッシュ型通知登録数 | 予定 | 50.0% | 53.0% | 57.0% | 60.0% | 63.0% | 67.0% | 70.0% | | させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)/母子健康手帳交付者数(年度ごと) | 引き続き登録利用者の増加に努める。 |
| | | 実績 | 78.0% | 46.2% | | | | | | | | |

| 2 | 地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|-------------------------------------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|------------------------------|---|
| | | オンライン対応相談窓口数 | 予定 | 1 | 2 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | | 相談に係る主要4事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・マタニティー学級・乳児家庭全戸訪問) |
| | 実績 | 1 | 2 | | | | | | | | | |
| | オンラインネットワーク連携施設数 | 予定 | | | 50 | 73 | 73 | 73 | 73 | | オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数 | 令和5年度からの連携体制構築に向けて準備を進める。 |
| | | 実績 | | | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|--|---|---|----|----|----|----|---|
| 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握 | 1-1 まちづくり計画に必要な人流情報の把握 【都市1-1-1】人流データの把握 | 【都市1-1-4】空き家状況の把握 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。 行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。 |
| 3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践 | 2-1 3D都市モデルの活用 【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築業務 | 2-2 3D都市モデル等を活用したまちづくり計画の高度化と市民へのわかりやすい情報発信 【都市2-2-1】3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。 データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。 |
| データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立） | | 3-1 土地利用に関する情報提供システムの一元化 【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。 データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。 |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|--|---|----------------|
| | | 令和5年度において可視化したデータや分析・公表を行うデータの情報共有を図り、3D都市モデルの幅広い活用を行う。 | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握 | 取得したデータについては、継続し経年での変化を把握する。 | |
| 2 | 3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践 | 将来的に多岐に渡る庁内業務や施策検討において、定量的な根拠データとして3D都市モデルを活用できることを目指し、3D都市モデルの活用方法について、庁内展開を図っていく。 | |
| 3 | データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立) | 都市整備で新たに構築したデータについて、3D都市モデル上でさらなる重畳を行っていく。 | |

【R6】重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

05【都市整備】高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

| No. | 内容 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|-----|--|-------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|---|--|
| | | 項目 | 属性 | | | | | | | | | |
| 1 | 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握 | リアルタイムで取得する情報の利用率 | 予定 | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 人流・交通量データの利用率(リアルタイム情報の把握をする際、当該施策検討におけるデータ活用の必要性と有用性を必ず確認した上で、取得したデータを活用できたかどうか) | 今後の施策展開に必要な施設や区域を選定し、現況や実態のデータ分析を行い、想定通りの活用ができた。 |
| | | | 実績 | | 100% | | | | | | | |
| 2 | 3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践 | 事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数 | 予定 | | | 3 | 3 | 4 | 4 | 5 | 構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。 | 予定通りの進捗が図れている。 |
| | | | 実績 | | | | | | | | | |
| 3 | データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立) | 都市計画に関するオープンデータ数 | 予定 | | | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | Web上で閲覧できる情報(オープンデータ)の項目数 | 予定通りの進捗が図れている。 |
| | | | 実績 | | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|---------------------------------------|---|--|---|---|----|----|---|
| ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握 | 1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施 【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進 | 1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム | 【土木1-b-2】河川モニタリングシステム 【土木1-b-3】ウェアラブルカメラの活用 【土木1-b-4】道路パトロールの動画活用システム | | | | <ul style="list-style-type: none"> ■ドローンを多目的に活用(空撮・3D測量等)し、i-Constructionを推進している。 ■IoTを活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。 ■ICT機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。 |
| AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | 2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析 | 【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報 | 【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム | 2-2情報分析に基づくインフラ管理の高度化 【土木2-1-4】データ共有プラットフォームによるデータ管理 | | | <ul style="list-style-type: none"> ■道路・河川等のモニタリングにより、緊急時の対応の迅速化が実現できている。 ■インフラ情報をAI技術等により分析を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所の抽出などが実現できている。 |
| インフラ情報のリアルタイム発信 | | 3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信 【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ■IoTの活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信(公開)が実現できている。 |

| R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|----------------|
| 「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」として、ドローンによる3D測量等や道路モニタリングの本格運用を行うとともに、AI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について研究を行う。 | |

| R6年度の事業総括 | | |
|-----------|--|--|
| 目標 | | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握 | ドローンによる3D測量等の多目的活用を実施するとともに、冠水状況の道路モニタリングを行うことで、インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握を行う。 |
| 2 | AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | 道路パトロールデータのAI分析を実施する。冠水浸水予測システムは、モニタリングによりデータ蓄積を進めるとともに予測システム構築の可能性について研究する。 |
| 3 | インフラ情報のリアルタイム発信 | 道路及び河川モニタリングのデータについて、リアルタイム情報発信を開始する。 |

【R6】重点課題 KPI の評価

01<<まちづくり>>

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

| No. | 項目 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|-----|--|----------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|
| | | | | 予定 | 実績 | 予定 | 実績 | 予定 | 実績 | 予定 | | |
| 1 | ドローン・IoT・ICT を活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握 | ドローン・IoT・ICT による情報把握対象の土木インフラ施設数 | 予定 | | 11 | 26 | 28 | 30 | 34 | 38 | ドローンの多目的利用による情報把握施設数及び道路・河川モニタリング箇所数等 | R4については、計画通りの進捗が図れている。R5以降のKPIについては、道路モニタリングの計画見直しにより、変更を行っている。 |
| | | | 実績 | | 11 | | | | | | | |
| 2 | AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | データ分析対象の土木インフラ施設数 | 予定 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 | 冠水・浸水予測システムによる分析箇所数及び道路パトロールデータの AI 分析施設数 | R4については、計画通りの進捗が図れている。R6以降のKPIについては、冠水予測システムの計画見直しにより変更を行っている。 |
| | | | 実績 | | 1 | | | | | | | |
| 3 | インフラ情報のリアルタイム発信 | リアルタイム発信チャンネル数 | 予定 | | | | 2 | 4 | 6 | 8 | 道路・河川モニタリング箇所のデータのリアルタイム発信のチャンネル数(1箇所=1チャンネル) | 計画通りの進捗が図れている。 |
| | | | 実績 | | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|--|--|---|--|--|----|----|--|
| <p>気軽に相談できる窓口の構築</p> | | <p>1-a-1福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上</p> <p>【保福1-a-1-3】オンライン相談</p> <p>1-a-2福祉に関する情報発信の強化</p> <p>【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨</p> | <p>1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理</p> | <p>1-3 気軽に相談できる窓口の実現 (DX活用による連携強化)</p> | | | <p>■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。</p> <p>■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。</p> |
| <p>多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援</p> | <p>2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減</p> <p>【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用</p> <p>【保福2-b-1-2】電子審査会の推進</p> | <p>2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減</p> <p>【保福2-b-2-2】AI・OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化</p> <p>2-b-2 AIを活用した市民サービスの推進</p> | | <p>2-3 市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援の実現</p> | | | <p>■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。</p> <p>■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。</p> |

| R6年度の目標(総括) | | R6年度の実績・評価(総括) |
|--|---|----------------|
| <p>オンライン対応手続きの拡大やオンライン対応(ウェブ会議)での対応により、市民目線のあるべき窓口の構築を目指す。 包括的支援(重層的支援体制整備事業)については、令和5～6年度の2か年で移行準備事業を実施することとしており、直接的なデジタル施策を実施する段階にないことから、RPAやAIを活用した事務作業の簡素化など職員負担の軽減を図る取組みに注力する。</p> | | |
| R6年度の事業総括 | | |
| 目標 | | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | <p>気軽に相談できる窓口の構築</p> <p>引き続き、オンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続の拡大を図るとともに、個別のニーズ・必要性に応じて、オンライン(ウェブ会議)での対応を取り入れ、市民サービスの向上を目指す。</p> | |
| 2 | <p>多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援</p> <p>令和7年度からの包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大をさらに推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図る。 電話を介したAIによる自動応答の実証実験の結果、定型的な受け答えで終了する業務が想定できない等の理由で効果が見込めず、部としての導入は行わない見込みであるが、提出された書類をAI-OCRやRPA等で処理することで職員の負担軽減を図る取組みを推進する。</p> | |

[R6] 重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による 包括的な支援体制の実現

| 1 | 気軽に相談できる 窓口の構築 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|----------------------|-----|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------------------|---|
| | | 予定 | 実績 | | | | | | | | | |
| | オンライン 対応手続き 数 | 予定 | 8 | 186 | 256 | 256 | 256 | 256 | 256 | 256 | オンライン対応可能な手続きの 調査に基づき設定 | 対応可能なものから順次 実施している。R5. 4. 1 時点実績は221となっ ており、確実に増加して いる。 |
| | | 実績 | 15 | 155 | | | | | | | | |
| | オンライン 申請利用 率 | 予定 | 10% | 20% | 30% | 35% | 40% | 45% | 50% | | オンラインでの手続き件数／手 続き総件数 | 対応可能なものから順次 実施している。今後も窓 口等でオンライン申請を 周知するなど、利用率増 加を図る。 |
| | | 実績 | 18.0% | 8.0% | | | | | | | | |
| | オンライン 対応相談 窓口数 | 予定 | | | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | | オンライン対応窓口数 (課かい数) | |
| | | 実績 | | | | | | | | | | |

| 2 | 多様な担い手との 連携による市民一 人ひとりの状況に 合わせた包括的支 援 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|---|-----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|---|------------------------------------|
| | | 予定 | 実績 | | | | | | | | | |
| | AI等先進 的なICT を活用す る業務数 | 予定 | 85 | 74 | 80 | 85 | 90 | 95 | 100 | | AI、RPA等の活用により、業務 効率化に取り組んだ業務数を 設定 | 議事録AI利用実績が大き く伸び、目標を上回って いる。 |
| | | 実績 | 85 | 108 | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|------------------------|----------------------------------|----|----|----|----|----|---|
| 関連情報のリアルタイムな把握と一元管理 | 1-1 災害対応に必要なデータの取得・分析 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ■災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる。 ■有事における対応計画が一元化された情報により作成できるようになる。 |
| | 【防災1-1-1】災害情報共有システム導入 | | | | | | |
| | 【防災1-1-2】対災害SNS情報の取得・分析 | | | | | | |
| | 1-2 データ分析に基づく防災計画などの策定 | | | | | | |
| 市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信 | 2-2 旅行者、外国人向けの防災情報の発信 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ■災害による被害軽減にむけて、市民一人ひとりに合わせたタイムリーかつ「伝わる」防災情報の発信ができています。 ■高齢者や外国人等も含め、多様な市民へも対応できる情報発信をできています。 |
| | 【防災2-2-1】旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信 | | | | | | |
| | 【防災2-2-2】ポータルサイトでの外国人向け情報発信 | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|------------------------|--|----------------|
| | | 災害情報共有システムを使用して、災害対応時の情報収集や関連情報の一元把握により、迅速な意思決定や応急対策を実施し、また、市民に「伝わる」防災情報をタイムリーに配信する。 | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 関連情報のリアルタイムな把握と一元管理 | 災害対応時にシステムを使用して気象・防災情報や被害情報など必要なデータの収集・分析を行い、迅速な意思決定や応急対策を実施する。 | |
| 2 | 市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信 | 災害情報共有システムを使用した一括配信により、システム整備とあわせて構築する市民ポータルサイトやSNS、民間の防災アプリ等で避難情報等を迅速に多くの人に配信する。 | |

【R6】重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した 危機管理マネジメントの構築

| 1 | 関連情報のリアルタイムな把握と一元管理 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|---------------------|---------------|----|----|----|------|------|------|------|------|-------------------------|----------------------------------|
| | | 情報集約対象のシステム化率 | 予定 | | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| | | | 実績 | | | | | | | | | 令和5年5月末を目標に災害情報共有システムの構築を実施している。 |
| | | | 予定 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数 | |
| | | | 実績 | 10 | 11 | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|---------------------|--------------------|----|---|--|----|----|--|
| 市役所に行かなくてもできる手続きの拡大 | 1-1 申請のオンライン化 | | 【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進 【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業 【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム | | | | ■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。 |
| | | | 1-2 電子申請における事務処理の効率化 【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携 | | | | |
| 書かない/待たない窓口の実現 | | | | 2-1 窓口での手続きに要する時間の削減 【窓口2-1-1】申請書類作成支援システムの導入 | | | ■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。 |
| | | | | 2-2 来庁者の分散化 【窓口2-2-2】申請の事前入力や窓口予約の実現 | | | |
| | | | | 2-3 プッシュ型手続きの実現 【窓口2-3-1】プッシュ型手続きの案内検討 | | | |
| 相談チャネルの拡充 | 3-a-1 オンライン相談の拡大 | | 【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大 | | | | ■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。 |
| | 3-b-1 相談に係る待ち時間の削減 | | 【窓口3-b-1-1】相談窓口予約 | | | | |

| R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|----------------|
| <p>引き続き「申請のオンライン化」を拡大するとともに、オンライン申請の利用促進を進めていく。 デジタル庁の窓口DXSaaSの導入、BPRを含めて窓口のあり方を検討するため、当初予定の令和6年度導入から令和7年度導入とする。 既存システム(ツール)によるオンライン相談及び窓口予約の対象業務の拡大を目指す。</p> | |

| R6年度の事業総括 | | |
|-----------|---------------------|--|
| 目標 | | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 市役所に行かなくてもできる手続きの拡大 | 引き続き「申請のオンライン化」を拡大するとともに、オンライン申請の利用促進を進めていく。 |
| 2 | 書かない／待たない窓口の実現 | 「書かない・待たない窓口」の実現については、デジタル庁の窓口DXSaaSの導入、BPRを含めて窓口のあり方を検討するため、当初予定の令和6年度導入から令和7年度導入とする。 |
| 3 | 相談チャネルの拡充 | 既存システム(ツール)によるオンライン相談及び窓口予約の対象業務の拡大を目指す。 |

【R6】重点課題 KPI の評価

01【窓口】行かなくてもよい待たない窓口

02 <<行政経営>>

| | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 | |
|---|---------------------|---------------|-------|------|-----|-------|-------------------|-------------------|-------|----------------------------|---|--|
| | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 市役所に行かなくてもできる手続きの拡大 | オンライン対応手続き数 | 予定 | 134 | 510 | 1,020 | 1,040 | 1,060 | 1,080 | 1,100 | オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定 | 概ね計画どおり進捗が図れている |
| | | | 実績 | 134 | 521 | | | | | | | |
| | オンライン申請利用率 | 予定 | 10% | 20% | 30% | 35% | 40% | 45% | 50% | オンラインでの手続き件数／手続き総件数 | オンラインでの手続き件数自体は前年度よりも増加している。手続き総件数の多い手続きでの利用率が低い。そのため、オンライン利用の増加・拡大を目指していく。 | |
| | | 実績 | 18.0% | 6.6% | | | | | | | | |
| 2 | 書かない／待たない窓口の実現 | 申請書作成支援対応手続き数 | 予定 | / | / | / | / | 令和6年度に整理し、改めて設定する | | | 記載台常備の戸籍・住民票・印鑑証明の各請求書、住民異動届、及びマイナンバーカード関係申請書の5種を設定 | 令和7年度以降の供用開始に向け、より効果的なシステム構成の見直し・検討を進めた。 |
| | | | 実績 | / | / | / | / | | | | | |
| | 申請書作成支援対応手続き利用率 | 予定 | / | / | / | / | 令和6年度に整理し、改めて設定する | | | 申請書作成支援対応手続き利用件数／手続き総件数 | 令和7年度以降の供用開始に向け、より効果的なシステム構成の見直し・検討を進めた。 | |
| | | 実績 | / | / | / | / | | | | | | |
| 3 | 相談チャネルの拡充 | オンライン相談対応業務数 | 予定 | / | / | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 | オンライン相談ができる窓口数 | - |
| | | | 実績 | / | / | | | | | | | |
| | 窓口予約対応手続き数 | 予定 | / | / | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 窓口予約対応手続き数(令和5年度より実装、順次拡大) | - | |
| | | 実績 | / | / | | | | | | | | |

02 ≪行政経営≫

02【多様化】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|--|-------------------------------------|----|----|----|----|----|---|
| 支払のキャッシュレス対応 | 1-1 財務会計システム納付書のキャッシュレス化 | | | | | | <p>■市民・事業者は、行政サービスにおける各種支払いについてキャッシュレス(クレジットカード、電子マネー等)を選択することができる。</p> |
| | 【多様化1-1-1】財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入 | | | | | | |
| | 1-2 窓口(レジ)のキャッシュレス化 | | | | | | |
| | 【多様化1-2-1】窓口(レジ)のキャッシュレス導入 | | | | | | |
| | 1-3 個別システム納付書のキャッシュレス化 | | | | | | |
| 【多様化1-3-1】個別システムの納付書に対するキャッシュレス導入 | | | | | | | |
| デジタルデバイス対応 | 2-a-1 デジタルデバイス対応 | | | | | | <p>■市民・事業者は、窓口対応や市からの行政サービスの提供において年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受することができる。</p> <p>■市民・事業者は地域を問わず、デジタルを活用することができる。</p> |
| | 【多様化2-a-1-1】高齢者・障がい者へのデジタル活用支援 | | | | | | |
| | 2-b-1 情報発信の多言語対応 | | | | | | |
| | 【多様化2-b-1-1】広報の多言語対応拡張 | | | | | | |
| | 【多様化2-b-1-2】AI翻訳ソフトの実証と導入 | | | | | | |
| | 2-c-1 ネットワーク利用可能施設の拡大 | | | | | | |
| 【多様化2-c-1-1】市内公共施設へのWi-Fi環境導入と適切な管理・運用 | | | | | | | |
| 情報発信の強化 | 3-1 情報発信のデジタル化 | | | | | | <p>■市民・事業者は、市役所が発信する様々な情報を、必要な時に、広報紙やホームページ、各種SNSといった最適な手段で取得することができる。</p> <p>■市民・事業者は動画によりわかりやすい情報を得ることができる。</p> |
| | 【多様化3-1-1】広報紙のデジタル化 | | | | | | |
| | 【多様化3-1-2】LINEサービスの拡張 | | | | | | |
| | 3-2 利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化 | | | | | | |
| | 【多様化3-2-1】情報発信チャネルの最適化 | | | | | | |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|---------------|---|----------------|
| | | <p>キャッシュレス化の拡大に向けて、個別システムからの納付書や小規模現金取り扱い窓口への対応を検討する。 デジタルデバйд対応については、講習会等の継続実施や市が提供するサービスの講座での実践検討などを行うとともに、コミュニティセンターへ整備したWi-Fiについては、その環境を最大限活用して、ソフト事業の充実と積極的な取組を継続して推進する。 情報発信チャンネルの分析等により、情報発信の最適化を図る。</p> | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 支払いのキャッシュレス対応 | <p>個別システムから出力する納付書のキャッシュレス化について対応を検討する。 小規模現金取り扱い窓口(指定管理者を含む)のキャッシュレス化について対応を検討する。</p> | |
| 2 | デジタルデバйд対応 | <p>「高齢者、障がい者等のデジタルデバйд対応」としては、講習会等の継続実施とともに、キャッシュレス決済等の市が提供するサービスの講座での実践検討や総務省・通信事業者が行うものとの連携模索をする。 コミュニティセンターにおいては、令和4年度整備のWi-Fi環境の利用を推進し、社会ニーズも視野に入れたソフト面の研究及び実践に努め、その活用を図る。</p> | |
| 3 | 情報発信の最適化 | <p>情報発信チャンネルの分析等により、情報発信の最適化を図る。</p> | |

【R6】重点課題 KPI の評価

02 <<行政経営>>

02【多様なサービス】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

| 1 | 支払いのキャッシュレス対応 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|---------------|----------------------|------|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|
| | | キャッシュレス決済利用率(財務システム) | 予定 | / | 5% | 6% | 7% | 8% | 9% | 10% | | |
| | 実績 | | 3.9% | | | | | | | | | |
| | | キャッシュレス決済利用率(窓口) | 予定 | / | 20% | 25% | 30% | 35% | 40% | 45% | キャッシュレス決済利用件数／全決済件数(キャッシュレス決済対応済手続きのみ) | ①R4.11～1次導入 ②R5.2～2次導入 年度途中での開始であり予定を下回っている。広報等により周知していく。 |
| | | | 実績 | | 10.2% | | | | | | | |

| 2 | デジタルデバイド対応 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|------------|----------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------------------|---------------|
| | | 情報発信における対応言語数 | 予定 | 4 | 4 | 4 | 4 | 133 | 133 | 133 | | |
| | 実績 | 4 | 4 | | | | | | | | | |
| | | デジタル活用セミナー実施回数 | 予定 | 21 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 市が行うデジタル活用セミナーの回数 | 予定を上回る結果となった。 |
| | | | 実績 | 30 | 48 | | | | | | | |

| 3 | 情報発信の最適化 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|----------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|---------|
| | | 市ホームページのアクセス数 | 予定 | 3,920,000 | 4,272,800 | 4,625,600 | 4,939,200 | 5,252,800 | 5,566,400 | 5,880,000 | | |
| | 実績 | 3,944,938 | 4,077,432 | | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|-----------------------------|---------------------------------|-------------------|--|----|----|----|---|
| 市民・事業者の意見の効果的な活用 | 1-1 電話対応の品質向上・職員負荷軽減 | | <p>【業務効率化1-1-1】電話の自動応答、録音による問い合わせ業務の向上</p> | | | | <p>■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。</p> |
| | | 1-2 市民の声収集・活用の活性化 | <p>【業務効率化1-2-1】広聴制度の見直し</p> | | | | |
| 事務作業の削減・省力化 | 2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化 | | | | | | <p>■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。</p> <p>■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。</p> |
| | 【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用 | | | | | | |
| | 【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用 | | | | | | |
| | 【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用 | | | | | | |
| | 【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化 | | | | | | |
| | 【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進 | | | | | | |
| | 2-b-1 内部事務のデジタル化 | | | | | | |
| 【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム | | | | | | | |
| 【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム | | | | | | | |
| 様々なデータを活用した業務の高度化 | 3-1 データ活用環境の整備 | | | | | | <p>■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。</p> |
| | 【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化 | | | | | | |
| | 【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業 | | | | | | |
| | 【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム | | | | | | |
| | 3-2 庁内情報管理の高度化 | | | | | | |
| 【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究 | | | | | | | |
| 【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し | | | | | | | |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|-------------------|--|----------------|
| | | <p>「オフィス改革の推進」の方針に基づき、令和7年度に向けた電話の自動応答導入とPBX(電話交換機設備)のリプレースを目指し、システム内容を整理した上で進めていく。 広聴制度の見直しについては、さらなる満足度向上に向けた検討を進める。 RPA、AI等のデジタルツールの利用拡大などのBPRを推進する。 「データ利活用環境の整備」として、BIツールの実証をするとともに、長崎県データ連携基盤へ流通させるデータのメンテナンスを行い、活用について研究をしていく。</p> | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 市民・事業者の意見の効果的な活用 | <p>令和6年度中に『スマートワークスタイル』変革に向けた全庁的なオフィス改革について意思決定をする予定である。スマートワークスタイルの前提となる一人1台PCのモバイルPC化は令和7年度までに実施予定のため、PC配置後のオフィス改革とあわせて電話の自動応答導入とPBX(電話交換機設備)のリプレースを目指し、システム内容を整理した上で進めていく。 広聴制度の見直しについて、現状の取り組みでは、市民の声に的確・丁寧に対応し、満足度の向上が見られるが、さらなる満足度向上に向けた検討を進めていく。</p> | |
| 2 | 事務作業の削減・省力化 | <p>業務等の業務手順書の作成結果の業務分析により、RPA、AI等のデジタルツールの利用拡大などのBPRを推進する。 また、業務手順書作成システムにより、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。</p> | |
| 3 | 様々なデータを活用した業務の高度化 | <p>「データ利活用環境の整備」として、BIツールの実証をするとともに、長崎県データ連携基盤へ流通させるデータのメンテナンスを行い、活用について研究をしていく。</p> | |

【R6】重点課題 KPI の評価

02 <<行政経営>>

03【仕事の高質化】デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

| 1 | 市民・事業者の意見の効果的な活用 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|------------------|------------|----|-------|-------|------|------|------|------|------|---------------------------------------|--|
| | | 電話の自動応答業務数 | 予定 | | | | | | | 3 | 3 | 3 |
| | 実績 | | | | | | | | | | | |
| | 広聴システムでの満足度 | 予定 | | 100% | 100% | | 100% | 100% | 100% | 100% | 広聴システムからの回答についての大変満足・満足の割合(アンケート等による) | 現状の取り組みでは、市民の声に的確・丁寧に対応し、満足度の向上が見られるが、さまざまな声の効果的活用について研究中。 |
| | | 実績 | | 80.2% | 83.6% | 100% | | | | | | |

| 2 | 事務作業の削減・省力化 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|-------------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------------------------------|----------------|
| | | RPA等による削減効果時間 | 予定 | 2,500.0 | 2,800.0 | 3,000.0 | 3,200.0 | 3,400.0 | 3,600.0 | 3,800.0 | | |
| | 実績 | 7,055.8 | 5,273.2 | | | | | | | | | |
| | 電子決裁率 | 予定 | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く) | 計画通りの進捗が図れている。 |
| | | 実績 | | 100% | | | | | | | | |

| 3 | 様々なデータを活用した業務の高度化 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|-------------------|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----------|---------|
| | | データの見える化対応業務数 | 予定 | | | | 6 | 12 | 18 | 24 | 30 | |
| | 実績 | | | | | | | | | | | |

| 課題 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 到達像 |
|--|--------------------------------------|----|----|----|----|----|---|
| 時間・場所にとらわれないスマートワーク環境 | 1-a-1 リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。 ■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。 ■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。 ■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。 ■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。 |
| | 【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大 | | | | | | |
| | 【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備) | | | | | | |
| | 1-a-2 リモートワークに適した環境リプレースの推進 | | | | | | |
| | 【職場1-a-2-1】PC台数、スペック、運用の見直し | | | | | | |
| | 1-b-1 オンラインコミュニケーションの環境整備・実証 | | | | | | |
| | 【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大 | | | | | | |
| | 【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化 | | | | | | |
| | 1-b-2 情報共有環境の見直し | | | | | | |
| | 【職場環境1-b-2-1】情報共有環境の見直し | | | | | | |
| | 【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境) | | | | | | |
| | 1-b-3 印刷環境の見直し | | | | | | |
| 【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し | | | | | | | |
| 1-c-1 スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し | | | | | | | |
| 【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査 | | | | | | | |
| 1-c-2 スマートワークに適した働き方を見直し | | | | | | | |
| 【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討 | | | | | | | |
| 1-d-1 強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施 | | | | | | | |
| 【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施 | | | | | | | |
| 自治体情報システムの標準化 | 2-2-1 基幹システム標準化対応 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。 |
| 【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化 | | | | | | | |

| | | R6年度の目標(総括) | R6年度の実績・評価(総括) |
|---|-----------------------|--|----------------|
| | | <p>次期庁内情報基盤更改における運用事業者を選定し、庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。また、佐世保市役所DXの根幹となる職員端末等の環境整備(スマートワーク環境の実現)を早期に整備することを目的に、ネットワークの構築・モバイル端末の一部導入を進めることに併せて、令和6年度のプリンタの配備見直しの検討を進める。</p> <p>また、システム標準化については、令和7年度の更新に向けて、令和6年度から各業務の標準化準拠システム移行に対応するベンダーを決定し、移行作業に着手する。</p> | |
| | | R6年度の事業総括 | |
| | | 目標 | 【実績】進捗状況・評価 |
| 1 | 時間・場所にとらわれないスマートワーク環境 | <p>次期庁内情報基盤更改における運用事業者を選定し、庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。また、パソコンのモバイルパソコンへの入れ替え、Wi-Fi環境の整備、プリンタの配備見直しを行う。</p> | |
| 2 | 自治体情報システムの標準・共通化 | <p>「基幹システムの標準化」として、令和7年度の更新のため、令和6年度から各業務の標準化準拠システム移行に対応するベンダーを決定し、移行作業に着手する。</p> | |

【R6】重点課題 KPI の評価

02 <<行政経営>>

04【職場環境】職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

| 1 | 時間・場所にとられないスマートワーク環境 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|----------------------|--------------------|--|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-----------------------------|------------------------------|
| | | オンラインコミュニケーションの利用率 | | | | | | | | | | |
| | | 予定 | | 50.0% | 55.0% | 60.0% | 80.0% | 90.0% | 100.0% | 100.0% | オンラインコミュニケーション利用職員数／利用可能職員数 | 予定を上回る結果となった。 |
| | | 実績 | | 60.3% | 84.4% | | | | | | | |
| | | 予定 | | 100.0% | 100.0% | 85.0% | 85.0% | 65.0% | 45.0% | 30.0% | 各年度のA4用紙購入枚数／令和3年度のA4用紙購入枚数 | 予定通り 目標値を(R9)70%→30%に上方修正 |
| | | 実績 | | 100.0% | 100.0% | | | | | | | |

| 2 | 自治体情報システムの標準・共通化 | KPI | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 算出式・設定根拠 | 進捗状況・評価 |
|---|------------------|--------------|--|----|----|----|----|----|----|----|------------------------------------|---------|
| | | 標準化対応基幹システム数 | | | | | | | | | | |
| | | 予定 | | / | / | / | / | 20 | 20 | 20 | 国の自治体システム標準化に関する方針に基づき設定(標準化した業務数) | |
| | | 実績 | | / | / | / | / | | | | | |

| 分野 | 分類 | 主体部局 | DX重点課題 | 課題 | ステップ | プロジェクト | | リーディング | 活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 実施年度 | | | | | | | | | | | |
|-------|----|-------|---|---------------------------|------------------------|-----------|------------------------------|---|-------------------|--------|--------|--------|---------|--------|------|----|------|--------|------|----|--------|----|------|--------|----|----|--------|----|----|--------|-----|---|--------|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 項目 | R3 | R3実績 | R4 | R4実績 | R5 | R5実績 | R6 | R6実績 | R7 | R7実績 | R8 | R8実績 | R9 | R9実績 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | 政策検討に必要なデータの取得・分析 | 観光1-1-4 | コンベンション協会業務デジタル化等事業 | データ分析のためのタブレット端末やクラウド環境、モバイルルーターの整備を実施します。 | 業務観光整備件数 | | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | 政策検討に必要なデータの取得・分析 | 観光1-1-6 | 人流データを活用した行動分析 | 位置情報のビッグデータをもとに、観光客の行動を分析し、観光キャンペーンやルートの立案などを実施します。 | データマイニング件数 | | | | 1 | 2 | 3 | | | 5 | | | 5 | | | 5 | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | 政策検討に必要なデータの取得・分析 | 観光1-1-7 | SNSデータのAI分析による観光計画 | SNS上の観光客のリアルな声を把握・分析し、観光コンテンツの評価や計画立案を実施します。 | データマイニング件数 | | | | | | 3 | | | 5 | | | 5 | | | 5 | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | データに基づいた戦略の策定 | 観光1-2-1 | データ共有プラットフォーム | 観光に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。 | ダッシュボードの作成件数 | | | | | | 6 | | | 12 | | | 18 | | | 24 | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | データに基づいた戦略の策定 | 観光1-2-2 | データ分析による需要予測 | データ共有プラットフォーム上のデータを分析し、観光に関する需要予測を実現します。 | データ活用による事業立案数 | | | | | | 5 | | | 6 | | | 7 | | | 8 | | | ... | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | データ活用による戦略策定と観光力強化 | 事業者と連携した地域の観光力強化 | 観光1-3-1 | 事業者等との情報共有(データ共有プラットフォームと同様) | データ共有プラットフォーム上にデータ連携機能を設けることで、事業者との情報共有を実現します。 | 民間事業者へのオープンデータ提示数 | | | | | | 3 | | | 5 | | | 7 | | | 7 | | | ... | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | デジタルプロモーションの推進 | 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化 | 観光2-1-2 | デジタルパンフレット | スマホやタブレットを活用した観光情報の収集ニーズに対応し、デジタルパンフレットの制作を実施します。 | 閲覧回数 | | | | | | | | | 1,850 | | - | 8,870 | | | 10,600 | | | 12,800 | | | 15,400 | | | 18,500 | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | デジタルプロモーションの推進 | 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化 | 観光2-1-3 | プロモーション動画を起点とした呼び込み | プロモーション動画を広告配信し、ホームページに誘導することで、観光地としての認知の向上を図ります。 | ホームページへの遷移数(/年) | 3,920 | 150 | 4,273 | 702 | 4,626 | | | | 4,939 | | | 5,253 | | | 5,566 | | | 5,880 | | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | デジタルプロモーションの推進 | 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化 | 観光2-1-4 | デジタルマップの活用 | 観光マップをデジタル化することで、観光客が現在地や観光スポットをスマホで確認しながら周遊することを実現します。 | 観光ルートのアクセス/利用者数 | 25,000 | 55,584 | 27,500 | 151,246 | 30,000 | | | | 33,000 | | | 36,000 | | | 39,600 | | | 43,500 | | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | デジタルプロモーションの推進 | 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化 | 観光2-1-5 | 各種商品券の電子化 | 各種商品券を電子で発行することにより発行・管理業務の負荷やコストを軽減しながら、加盟店や利用者の拡大を実現します。 | アプリダウンロード数 | | | | | 15,000 | | | | 19,500 | | | 25,400 | | | 33,000 | | | 42,900 | | | ... | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | デジタルプロモーションの推進 | 新たな技術を活用したプロモーションの推進 | 観光2-2-1 | デジタルトラベルガイドの導入 | デジタル技術を活用したトラベルガイド提供することで、観光資源の充実を図ります。 | トラベルガイドのユニークユーザー数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 観光 | 観光商工部 | デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上 | 最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築 | メタ観光ニーズへの対応 | 観光3-a-2-1 | AIを活用したメタ観光ルートの提供 | AIの活用により、観光客の嗜好や希望条件に合わせた観光プランを提供し、多層的な観光体験(メタ観光)の提供を実現します。 | モデルコースデータベース | | | | | | | | | 30 | | | 60 | | | 90 | | | 90 | | | ... | ... | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |

| 分野 | 分類 | 主体部局 | DX重点課題 | 課題 | ステップ | プロジェクト | | リーディング | 活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 実施年度 | | | | | | | | | | |
|-------|---------|--------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|-------------|----------------------------------|--|------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|-------|----|------|-------|------|----|-------|----|------|-------|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 名称 | 名称 | | PID | 名称 | 概要 | 項目 | R3 | R3実績 | R4 | R4実績 | R5 | R5実績 | R6 | R6実績 | R7 | R7実績 | R8 | R8実績 | R9 | R9実績 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 農林水産 | 農林水産部 | デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現 | 安心・安定して生産できる環境の整備 | 鳥獣/赤潮被害の軽減 | 農水3-1-1 | 有害鳥獣被害防止対策 | 害獣をセンサーで検知し、基地局・中継局を通じて利用者等にメール等で通知することを実現します。 | ○ | 研究開発に係る協議回数(/年) | 5 | 5 | 10 | 5 | 10 | | | 10 | | | 10 | | | 10 | | | 10 | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 農林水産 | 農林水産部 | デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現 | 安心・安定して生産できる環境の整備 | 鳥獣/赤潮被害の軽減 | 農水3-a-1/2-2 | 赤潮監視対策事業 | テレメーターによりセンシング及び採水を行い、AIにて分析を行うことで、赤潮発生の予兆を検知し、利用者へメールなどで通知することを実現します。 | ○ | 赤潮監視装置の拠点数 | | | | 1 | 1 | | | 4 | | | 4 | | | 4 | | | 4 | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現 | 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上 | 子ども1-a-1-1 | オンライン対応可能な手続申請 | オンラインで申請で実施できる申請を拡充します。 | | 手続き数 | 16 | 19 | 77 | 84 | 93 | | | 93 | | | 97 | | | 99 | | | 99 | | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現 | 子育てに関する情報発信の強化 | 子ども1-b-1-1 | プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充 | 市が保有するデータを活用し、子育て世帯向けに子育てに関する情報や必要な手続きなどをプッシュ通知でお知らせを実施します。 | ○ | 新規登録率 | 50.0% | 78.0% | 53.0% | 46.2% | 57.0% | | | 60.0% | | | 63.0% | | | 67.0% | | | 70.0% | | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現 | 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化 | 子ども1-2-1 | オンライン申請利用率の向上 | 妊娠、出産、育児に係る申請等についてマイナポータル等を活用し、オンラインによる申請手続き率を向上します。 | | 申請利用率 | 10.0% | 12.1% | 20.0% | 14.0% | 30.0% | | | 35.0% | | | 40.0% | | | 45.0% | | | 50.0% | | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化 | 新たな技術を活用した子育て支援の推進 | 子ども2-1-2 | オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など) | 母子健康手帳交付、訪問相談などの相談をオンラインで対応可能な環境を実現します。 | | 相談対応事業数 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | | | 4 | | | 4 | | | 4 | | | 4 | | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化 | 新たな技術を活用した子育て支援の推進 | 子ども2-1-3 | 地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携 | 地域の子育て関連機関とのやりとりや資料共有などオンラインで対応可能な環境を実現します。 | ○ | 連携施設数 | | | | | 50 | | | 73 | | | 73 | | | 73 | | | 73 | | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化 | 子育て支援に必要なデータの取得・分析 | 子ども2-2-1 | 子育て関連情報の一元管理 | 子育てに関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。 | | データ活用を行う業務数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 子ども・子育て | 子ども未来部 | 地域を含めた切れ目のない子育て支援 | 地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化 | データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応 | 子ども2-3-1 | AIデータ分析による業務活用 | 子育てに関する様々なデータを分析し、AIによるリスク検知を行うことで、ケースのリスクアセスメントや支援プランの作成を実現します。 | ○ | データ活用を行う業務数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 教育 | 教育委員会 | 一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築 | 児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築 | モラル教育及びセキュリティの充実 | 教育1-a-1-1 | フィルタリングソフトの導入 | 児童生徒をインターネットトラブルや有害サイトから守り、安心してITを利用できる環境を実現します。 | | ソフト導入率 | | | 100% | 100% | 100% | | | 100% | | | 100% | | | 100% | | | 100% | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 教育 | 教育委員会 | 一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築 | 児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築 | 教員の学びの知見の共有化 | 教育1-b-1/2-1 | 学校教育ネットワーク強化事業 | 通信環境の強化により、児童生徒が快適にITを利用できる環境を実現します。 | | ハード・ソフト導入率 | | | 100% | 100% | 100% | | | 100% | | | 100% | | | 100% | | | 100% | | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 教育 | 教育委員会 | 一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築 | 児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築 | 個別に最適化された学びの実現 | 教育1-c-1 | AIドリルの導入 | 児童生徒の解答をAIが分析し、次に取り組みべき問題を自動で出題するなど、個々の習熟度に応じた学習を実施します。 | | 導入学校数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ⇒ | ⇒ |

| 分野 | 分類 | 主体部局 | DX重点課題 | 課題 | ステップ | プロジェクト | | | リーディング | 活動指標 | | | | | | | | | | | | | | 実施年度 | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|--|--|---|---------------|--------------------------------|--|--------------|------|----|------|------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|----|----|----|----|----|---|
| | | | | | | 名称 | 名称 | PID | | 名称 | 概要 | 項目 | R3 | R3実績 | R4 | R4実績 | R5 | R5実績 | R6 | R6実績 | R7 | R7実績 | R8 | R8実績 | R9 | R9実績 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 教育 | 教育委員会 | 一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築 | 校務の効率化による注力すべき業務へのシフト | 校務の効率化支援 | 教育2-1-1 | 統合型校務支援システムの導入 | 統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を実現します。 | システム導入率 | | | 100% | 100% | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 教育 | 教育委員会 | 一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築 | 保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化 | 保護者とのコミュニケーションの基盤の整備 | 教育3-1-1 | 学校・家庭間連絡システムの導入 | 学校から保護者への連絡や保護者から学校への連絡をシステム化します。 | 活用学校数 | | | 0% | 50% | 70% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 都市整備 | 都市整備部 | 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現 | 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握 | まちづくり計画に必要な人流情報の把握 | 都市1-1-1 | (まちなかウォークアブル推進、データ使用料)人流データの把握 | 携帯電話のローミング情報をもとに国内居住者や訪日外国人の人口分布や動態の把握を図ります。 | 取得データ種別数 | | | | | 1 | | 2 | | 2 | | 2 | | 2 | | 2 | | 2 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 都市整備 | 都市整備部 | 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現 | 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握 | まちづくり計画に必要な施設情報の把握 | 都市1-1-4 | 空き家推定ツール開発共同研究事業 | 空き家の状況把握や定期的な実態確認を実施します。 | 確認建物数% | | | | | | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| まちづくり | 都市整備 | 都市整備部 | 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現 | 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握 | SNSを活用した公共施設の情報取得と解析 | 都市1-2-2 | SNSを活用した公園管理 | SNSにより、公園の遊具や植物の状況(老朽状態や育成状況など)について市民からの情報取得を実施します。 | 導入公園率(%) | | | | | | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 都市整備 | 都市整備部 | 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現 | 3Dモデル等の活用による都市の見え方の可視化とデータに基づくまちづくりの立案と実践 | 3D都市モデルの活用 | 都市2-1/2/3-1 | 3D都市モデル構築業務 | 建物の高さや構造種別などを立体的に把握し、3Dでの都市の状況表示を実現します。 | 市民対応での活用率 | | | 0% | 0% | 14.0% | | 28.0% | | 42.0% | | 56.0% | | 70.0% | | 70.0% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 都市整備 | 都市整備部 | 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現 | 3Dモデル等の活用による都市の見え方の可視化とデータに基づくまちづくりの立案と実践 | 3D都市モデルを活用した計画策定の高度化 | 都市2-2-1 | 3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化 | 3D都市モデルを作成することで、災害リスクの検討や人流・物流のシミュレーションを行い、より高度な居住計画に資する情報の分析を実現します。 | ダッシュボードの作成件数 | | | | | 6 | | 12 | | 18 | | 24 | | 30 | | 30 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 都市整備 | 都市整備部 | 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現 | データ一元化による土地利用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立) | まちづくり計画に必要なデータの一元管理 | 都市3-1-1 | データ共有プラットフォーム | 都市整備に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。 | 統合するデータ種別数 | | | | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 9 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握 | ドローンの3D測量等多目的活用の実施 | 土木1-a-1/2/3-1 | ドローンの多目的活用の推進 | インフラ施設や災害現場の全体像の把握や写真・動画の撮影、関係部署との共有、市民への情報発信などドローンの多目的活用を実施します。 | ドローン多目的利用数 | | | 3 | 3 | 4 | | 5 | | 6 | | 8 | | 10 | | 10 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握 | モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 | 土木1-b-1/2-1 | 道路冠水状況モニタリングシステム | モニタリング(カメラ・センサ)により、市道等の冠水状況の把握を行います。また、冠水浸水予測システム構築に向けたデータ収集を実施します。 | モニタリング箇所数 | | | | | 9 | | 9 | | 9 | | 9 | | 9 | | 9 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | |

| 分野 | 分類 | 主体部局 | DX重点課題 | 課題 | ステップ | プロジェクト | | リーディング | 活動指標 | | | | | | | | | | | | | | 実施年度 | | | | | | | | |
|-------|------|-------|--|--------------------------------------|--|---------------|--|--|------|---------------------|------|----|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|----|----|----|----|----|---|---|
| | | | | | | | | | 項目 | R3 | R3実績 | R4 | R4実績 | R5 | R5実績 | R6 | R6実績 | R7 | R7実績 | R8 | R8実績 | R9 | R9実績 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | ドローン・IoT・ICTを活用したスピードかつ効率的なインフラ情報の把握 | モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 | 土木1-b-1/2-2 | 河川モニタリングシステム | ライブカメラやセンサー等により、リアルタイムな河川の状況把握を実施します。 | ○ | モニタリング箇所数 | | | | 4 | 4 | 8 | | 8 | | 8 | | 8 | | 8 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | ドローン・IoT・ICTを活用したスピードかつ効率的なインフラ情報の把握 | モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 | 土木1-b-1/2-3 | ウェアラブルカメラの活用 | ウェアラブルカメラを活用し、現場と本庁で画像、映像を共有し、本庁側での現場のリアルタイムな状況確認を実現します。 | | ウェアラブルカメラ利用時間(h) | | | | 200 | 50 | 280 | | 360 | | 440 | | 520 | | 600 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | ドローン・IoT・ICTを活用したスピードかつ効率的なインフラ情報の把握 | モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 | 土木1-b-1/2-4 | (道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールの動画活用システム | 道路パトロールのICT化データ(路面評価)と、動画データとのダブルチェックによる損傷確認や、路面以外の道路周辺の映像確認等を実施します。 | ○ | 道路パトロール利用率 | | | | 75.0% | 75.0% | 77.5% | | 80.0% | | 82.5% | | 85.0% | | 90.0% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 | 土木2-1-1 | 冠水・浸水予測システム | 道路・河川モニタリングシステムによって集積されたデータをAI技術等により分析し、水位予測モデルの作成を実施します。 | ○ | 冠水・浸水箇所の分析箇所数 | | | | | | | | | | | | 2 | | 4 | | … | … | … | … | ○ | ⇒ |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 | 土木2-1-2 | (道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールデータのAI分析 | 道路パトロールの動画活用システムなどで蓄積された画像データをAIにより分析し、舗装損傷箇所の自動検出を実現します。 | | 道路パトロールデータ分析率 | | | | 75.0% | 36.5% | 77.5% | | 80.0% | | 82.5% | | 85.0% | | 90.0% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 | 土木2-1-3 | WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報 | スマホの写真撮影機能と位置情報計測システム(GPS)機能を活用し、市民が道路損傷等をWEBアプリケーション等で市へ通報することを実現します。 | | WEBアプリケーション等による通報件数 | | | | | | 630 | | 660 | | 690 | | 720 | | 760 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化 | 情報分析に基づくインフラ管理の高度化 | 土木1-b-3/2-3-1 | データ共有プラットフォームによるデータ管理 | 土木に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。 | | データ種別数 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 | | 3 | | ○ | ⇒ | ⇒ |
| まちづくり | 土木 | 土木部 | デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築 | インフラ情報のリアルタイム発信 | 市民へのインフラ情報のリアルタイム発信 | 土木3-1/2-1 | ホームページ等による情報のリアルタイム発信 | ライブカメラの映像等をホームページ等でのリアルタイム発信を実現します。 | | リアルタイム発信のチャンネル数 | | | | | | 0 | | 2 | | 4 | | 6 | | 8 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| まちづくり | 保健福祉 | 保健福祉部 | デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現 | 気軽に相談できる窓口の構築 | 福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上 | 保福1-a-1-3 | オンライン相談 | 介護・医療などの相談をスマホやパソコンからオンラインで実施可能な環境を実現します。 | | オンライン相談窓口数 | | | | | 15 | | 15 | | 15 | | 15 | | 15 | | 15 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| まちづくり | 保健福祉 | 保健福祉部 | デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現 | 気軽に相談できる窓口の構築 | 福祉に関する情報発信の強化 | 保福1-a-2-2 | ナッジ理論を活用した健診の推奨 | 長崎県が実施する「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」に参加し、受診勧奨を行う。 | | 通知勧奨実施回数 | | | | | 1 | | 2 | | 2 | | 2 | | 2 | | 2 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | |

| 分野 | 分類 | 主体部局 | DX重点課題 | 課題 | ステップ | プロジェクト | | | リーディング | 活動指標 | | | | | | | | | | | | 実施年度 | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|---------|-------------------------|-----------------------|------------------------|--------------|------------------------------------|---|--------|--------------------------|------|-------|-------|-------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|------|--------|----|------|----|------|----|----|----|----|---|---|---|---|
| | | | | | | 名称 | PID | 名称 | | 概要 | 項目 | R3 | R3実績 | R4 | R4実績 | R5 | R5実績 | R6 | R6実績 | R7 | R7実績 | R8 | R8実績 | R9 | R9実績 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 市民・事業者の意見の効果的な活用 | 市民の声収集・活用の活性化 | 業務効率化1-2-1 | 広聴制度の見直し | 現状の広聴システムにおいてSNSのコメント収集や、より分析しやすくするためのデータ形式や入力方法といった見直しを行います。 | ○ | 広聴システム満足度 | 100% | 80.2% | 100% | 83.6% | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | … | … | … | ○ | ⇒ | ⇒ | |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | デジタルツール活用による業務の自動化 | 業務効率化2-a-1-1 | (先進的ICT技術活用推進事業)RPAの導入と活用 | RPAを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。 | ○ | 利用件数 | 25 | 32 | 32 | 38 | 35 | | 38 | | 41 | | 44 | | 47 | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | デジタルツール活用による業務の自動化 | 業務効率化2-a-1-2 | (先進的ICT技術活用推進事業)AI-OCRの導入と活用 | AI-OCRを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。 | ○ | 処理帳票種類 | 0 | 0 | 20 | 19 | 24 | | 28 | | 32 | | 36 | | 39 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | デジタルツール活用による業務の自動化 | 業務効率化2-a-1-3 | (先進的ICT技術活用企画費)ローコードツールの活用 | ローコードツールを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。 | | アプリケーション開発件数 | 1 | 0 | 3 | 1 | 6 | | 9 | | 12 | | 15 | | 18 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | デジタルツール活用による業務の自動化 | 業務効率化2-a-1-4 | (先進的ICT技術活用推進事業)文字起こしAIによる議事録の自動化 | 既に取組を行っている文字起こしAIによる議事録の自動化について活用を促進します。 | ○ | 処理件数 | 800 | 925 | 1,700 | 1,852 | 2,600 | | 3,500 | | 4,400 | | 5,300 | | 6,200 | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | 内部事務のデジタル化 | 業務効率化2-a-1-5 | 電子決裁・文書管理システム | 文書管理システムを導入し、庁内における決裁を電子化することで業務の高速化を図ります。 | | 電子決裁率 | 0% | 0% | 100% | 100% | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | 100% | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | 内部事務のデジタル化 | 業務効率化2-b-1-2 | 庶務事務システムの再構築 | 庶務事務システムの再構築により、勤怠入力や休暇申請といった業務をデジタル化します。 | | 庶務業務のデジタル化件数 | 0 | 0 | 1,200 | 0 | 17,700 | | 17,700 | | 17,700 | | 17,700 | | 17,700 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 様々なデータを活用した業務の高度化 | データ利活用環境の整備 | 業務効率化3-1-1 | BIツール等を用いたデータの見える化 | 時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。 | | ダッシュボードの作成件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | | 12 | | 18 | | 24 | | 30 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 様々なデータを活用した業務の高度化 | データ利活用環境の整備 | 業務効率化3-1-2 | DX企画推進事業(長崎県データ連携基盤) | 行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を利活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。 | | 本市データをシステム連携し利用した回数 | 0 | 0 | 1,000 | 1,595 | 1,200 | | 1,400 | | 1,600 | | 1,800 | | 2,000 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 様々なデータを活用した業務の高度化 | データ利活用環境の整備 | 業務効率化3-1-3 | データ共有プラットフォーム | | | ダッシュボードの作成件数 | / | / | / | / | 6 | | 12 | | 18 | | 24 | | 30 | | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 行政経営 | 高質化 | 総務部 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 様々なデータを活用した業務の高度化 | 庁内情報管理の高度化 | 業務効率化3-2-1 | 庁内情報の整理と配置の見直し | FAQ、グループウェア、ファイルサーバ、例規システムに格納されているデータについて職員が検索しやすいようデータの整理を行います。 | | 対応業務数 ※整理・移行を実施した業務(分類)数 | / | / | / | / | / | | / | | / | | / | | / | | … | … | ○ | | | | | | | | |
| 行政経営 | 高質化 | 行政改革推進局 | デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化 | 事務作業の削減・省力化 | デジタルツール活用による業務の自動化 | 業務効率化2-a-1-6 | 業務手順書作成によるBPRの推進 | 業務手順書作成システムを導入し、全庁的に業務手順書を作成することで、その分析結果からRPAを導入するなどのBPRを行います。 | | 手順書作成数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 | | 378 | | 378 | | 378 | | 378 | | … | ○ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 行政経営 | 職場環境 | 総務部 | 職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境 | 時間・場所にとらわれない魅力的な職場環境 | リモートワークに適した環境リプレイス推進 | 職場環境1-a-2-1 | PCの台数、スペック、運用の見直し | リモートワーク等の働き方に合わせて、次期調達PCのスペックや台数を見直します。 | | PC配布数 | / | / | / | / | / | | / | | / | | / | | / | | … | ○ | | | | | | | | | |
| 行政経営 | 職場環境 | 総務部 | 職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境 | 時間・場所にとらわれないスマートワーク環境 | オンラインコミュニケーションの環境整備・実証 | 職場環境1-b-1-1 | オンライン共有環境や運用の見直しと拡大(庁内外の連絡のオンライン化) | 既に取組を行っているオンライン会議について、より活用を拡大するため、会議室等の設備の見直しや、運用の見直しを行います。 | | オンラインコミュニケーションの利用率 | 50% | 60% | 55% | 84% | 60% | | 80% | | 90% | | 100% | | 100% | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |

